

2021年9月15日
株式会社 Swandive

組織で使える読書アウトプット管理サービス

「OutputStock」をリリースいたしました

読書による教育研修を実施しても“読むだけ”で完結していませんか？

読書はアウトプットしてナンボです。



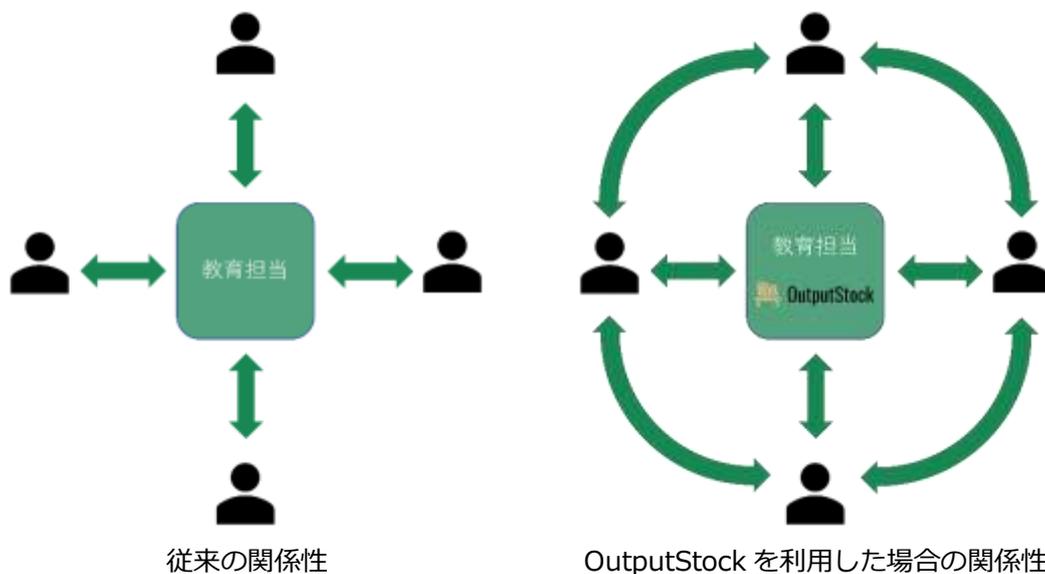
定額で毎月読みたい本をお届けする、本のサブスクサービス「shelff」(<https://shelff.jp>)を運営する株式会社 Swandive（本社：東京都江東区、代表取締役：吉村恭輔、以下「当社」）は、多くの企業において実施されている読書による教育研修をサポートするサービス「OutputStock」(<https://outputstock.com>)を2021年9月15日にリリースしたことをお知らせします。去る9月7日にプレリリースという形で最低限の利用ができる基本機能のみを実装した状態でローンチしましたが、試用いただいたユーザー様から要望のあった各種機能を追加し、プレリリースから短期間ではありますがこの度改めて正式にリリースすることといたしました。また、引き続き、当面の間は利用料金を無料とするキャンペーンを実施するとともに、有料化するまではヒアリングと称した営業活動を含めて当社からご連絡する予定はございませんので、お気軽に試用いただけますと幸いです。

「OutputStock」の概要

読書による教育研修はその効果が認められているため多くの企業で実施されています。多くの人が人事部門や上司から口うるさく「本を読め」と言われた覚えがあるでしょう。口うるさく言われるのは本を読めば大概の課題は解決することがほぼ確実なのに本を読まないからです。人類初の難題が“普通の個人”に降りかかることなんてほぼありません。

一方、企業側も「本を読め」と言うだけ、やっているとしても本から得た学びについてレポートを提出させるだけで、読書による教育研修によってもたらされる効果が最大化される仕組みを整えられていません。

読書による学びはアウトプットして初めて完結するものであり、多様なアウトプットに触れることでさらにその学びが深まると言われていますが、その仕組みが用意されていなければ教育研修の意味がありません。「OutputStock」を利用すると、読書レポートとそれに対するフィードバックという教育担当者と従業員の 1:1 のコミュニケーションに加えて、他の従業員のレポートを読むこともできるしそれに対するコメントもできることで従業員同士のコミュニケーションが発生するため、読書による教育効果が高まることが期待されます。



「OutputStock」は組織における読書活動をサポートするために以下の機能を提供しています。(それぞれの機能説明は後述)

- ・ 会社の本棚機能
- ・ 社員個人の本棚機能
- ・ アウトプットの記録と共有
- ・ アウトプットを起点としたコミュニケーション

- ・ アウトプットの一覧表示
- ・ アウトプットの一括管理

今後有料化の予定はございますが、現在のところ無料でお使いいただけますので新規会員登録ページ（<https://app.outputstock.com/signup.html>）からアカウント登録いただき、「OutputStock」をお試しください。有料化するまでは営業活動やヒアリングと称するご連絡もいたしません。お気軽にお使いいただければと存じます。

「OutputStock」は企業に限らず、読書サークルや読書会といった非営利団体にてご利用いただくことも可能です。非営利団体でのご利用については有料化の予定はございません。

なお、個人の読書記録やアウトプット管理には「OutputStock」は適しておりませんので実績のある既存のサービス（ブクログや読書メーター等）をお使いください。

機能紹介

会社の本棚機能



会社の休憩室に並んでいる蔵書と組織として従業員に読んでほしいお勧めの書籍、例えば、人事部が従業員に読ませたい課題図書や経営者が社内のコンセンサスを取るための書籍を登録しておくことができます。

社員個人の本棚機能



社員それぞれが自分のお勧めの書籍や、組織の本棚の中で読みたいと思った書籍や気になった書籍を登録しておくことができます。個人の本棚は組織内のメンバーであれば誰でも閲覧できます。

アウトプットの記録と共有



読書で得たインプットを定着させるためのアウトプットを登録することができ、登録と同時に組織内のメンバー全員に共有されます。他のメンバーのアウトプットに触れることで新たな学び・気付きを得られます。

アウトプットを起点としたコミュニケーション



各アウトプットに対して組織内のメンバーであれば誰でもコメントを付けることができます。アウトプットを起点としたコミュニケーションが発生することで、読書による学び・気付きがより深まることが期待できます。

アウトプットの一覧表示



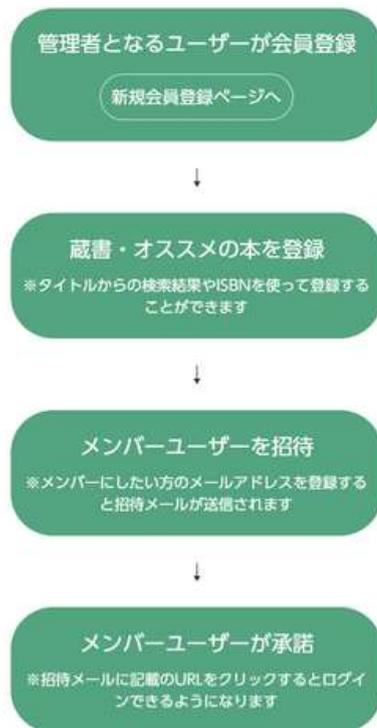
組織内のアウトプットをタイムライン形式で見ることができます。また、特定のメンバーが登録したアウトプットの一覧表示や特定の書籍に付いているアウトプットの一覧表示もすることができます。

アウトプットの一括管理



管理ユーザーは管理画面からメンバー毎のアウトプット状況を確認できたり、各メンバーのアウトプットにアクセスしやすくすることで読書に通じた社員教育・社員研修をスムーズに管理できるようになります。

ご利用開始までの流れ



■会社概要

会社名：株式会社 Swandive

所在地：東京都中央区晴海

代表者：吉村恭輔

設立：2019年5月21日

URL：<https://swandive.co.jp>

事業内容：

- ・ 本のサブスクリプションサービス「shelff」の運営 (<https://shelff.jp>)
古物商許可番号：東京都公安委員会 第 307711905916 号
- ・ 組織で使える読書アウトプット管理サービス「OutputStock」の運営 (<https://outputstock.com>)
- ・ スタートアップ向け各種業務支援（部門立上げ、MVP 開発等）

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社 Swandive 担当：吉村恭輔

メールアドレス：pr@swandive.co.jp